2011年1月1日～2020年8月31日の間に 当科において急性細菌性前立腺炎の治療を受けられた方へ

「急性細菌性前立腺炎における分離菌および薬剤感受性に関する検討」への ご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学泌尿器科学 准教授 上原慎也
研究分担者 川崎医科大学泌尿器科学 教授 永井 敦
川崎医科大学総合医療センター泌尿器科 兼務シニアレジデント 西下憲文

1. 研究の概要

急性細菌性前立腺炎は比較的稀な感染症で、その原因となる細菌の種類や、どの抗菌薬の効果が高いかといったデータが少なく、治療に際し、抗菌薬の選択が難しい場合があります。この研究では、治療に際し培養された原因菌に対し、どの抗菌薬がよく効くかを検討することで、今後の治療の際の抗菌薬の選択に役立てることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年1月1日～2020年8月31日の間に川崎医科大学総合医療センター泌尿器科において急性細菌性前立腺炎の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2021年6月30日

3) 研究方法

2011年1月1日～2020年8月31日の間に当院において急性細菌性前立腺炎の治療を受けられた方において、研究者が診療情報をもとに、血液検査や分離された細菌の種類、薬剤感受性等のデータを選び、集計して、どの抗菌薬の効果が高いかを調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、病歴、血液データ、臨床経過、細菌分離培養、薬剤感受性 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、対応表は川崎医科大学泌尿器科学内で、その他の情報は総合医療センター泌尿器科医局にて保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター泌尿器科

氏名：上原慎也

電話：086-225-2111（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：uesinn0116@gmail.com

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。